

アンネ・フランク 学習・講演会のご案内



今年はアンネ・フランクが生まれて89年になります。もし、アンネが生きていたら、どんな人物になっていたのでしょうか。しかし、アンネは15歳で、その短い生涯を閉じました。

アンネ・フランクは、『日記』思いを託しました。一人の少女が『日記』に綴った思いは、過去を見つめ未来へ向かう思いとして、私たちの胸に迫ります。

『日記』とともに、アンネ・フランク15歳の生涯を知ることは、ホロコーストの真実を知る手がかりともなります。アンネ・フランク終焉の地、ドイツのベルゲン・ベルゼン強制収容所のガイドは、「アンネ・フランクも600万分の1なのです」と語りました。

ホロコーストの犠牲者は600万人ともいわれていますが、一人の少女の未来を奪ったホロコーストが何であったのか。そのことをいっしょに考えてみませんか。

そして、あの時代に多くのアンネたちがいたことを・・・。

講師 工藤 芳弘氏

- アンネ・フランク研究家
- 東京都学校生活協同組合副理事長
- 東京都教職員組合元委員長

講師 クドウ ヨシヒロ 工藤 芳弘氏



都内の中学校教師をへて、東京都教職員組合（都教組）の書記長、委員長を歴任。

教師時代から東京大空襲、ヒロシマ・ナガサキ、沖縄、ホロコースト（シヨアー）などの学習にとりこんできた。

とりわけアンネ・フランクについては、ライフワークとして研究しており、旅の企画や学習会、海外での案内も行っている。

現在、都教組専門委員、東京大空襲・戦災資料センター運営委員。

－ アンネ・フランクとホロコースト －

第1部 アンネ・フランク 15歳の生涯をたどる

● 7月28日(土) 14:00 開始 [13:30 開場] 5階 B 会議室

第2部 アンネ・フランクの願い

● 8月25日(土) 14:00 開始 [13:30 開場] 5階 A 会議室

ところ エデュカス東京（全国教育文化会館）

東京都千代田区二番町 12-1 ☎ 03-5210-3511（会館受付）

会費 500円

※資料代として

●市ヶ谷駅（JR/地下鉄）下車徒歩7分 ●麴町駅（地下鉄）下車徒歩2分 ●四ツ谷駅（JR/地下鉄）下車徒歩7分



主催 ●東京都学校生活協同組合 ☎:0120-800-535 FAX:0120-100-130 携帯:03-3428-8041 ●後援:ユーラスツアーズ
〒154-0017 東京都世田谷区世田谷 1-41-12 <http://www.tokyogak.coop> ※ご参加の方は、お電話・メール・FAXまたは、裏面の参加票をご記入の上、ご郵送ください。

郵便はがき

1548790

6364

364



差出有効期間
平成30年12月31日迄
(切手を貼らずに)
(ご投函ください)

東京都世田谷区世田谷1-41-12
東京都学校生活協同組合
事業部 行



〈ご所属〉 ※ご退職者の方は「継続」に○をお付け下さい	
区市町村	学校 継続
〈申込代表者・氏名〉 (フリガナ)	〈職員番号〉
〈TEL〉 - -	

（印刷線）

〔折り返し部分〕

7/28(土)	参加	※具体的な相談内容があれば
アソネ フラインク 学習会	_____ 名様	
8/25(土)	参加	※具体的な相談内容があれば
アソネ フラインク 学習会	_____ 名様	

のりしろ【のりしろ部分以外にのりはつけないで下さい】